

国際ローミング対応エリアが150を突破

～対応エリアが7増え、合計151の国と地域で通話が可能に～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:孫正義)では、ボーダフォンの第3世代(3G)携帯電話¹がそのまま使える国際ローミングサービスの対応エリアについて、2006年5月25日(木)に通話ができるエリアが7増え、合計151の国と地域で通話できるようになります。今回新たに対応エリアになるのは、アルメニア、スーダン、ガンビア、シエラレオネ、ルワンダ、ベネズエラ、アラスカです。

また、ボーダフォンでは、すでに対応エリアとなっている国や地域においても、これまで以上に便利にご利用いただけるよう、提携する通信事業者数を順次増やしています。5月25日現在、国際ローミング対応エリア151の国と地域のうち、61の国と地域で複数の事業者と提携することとなり、合計214事業者のネットワークが利用可能となります。

ボーダフォンでは、2002年12月に国際ローミングサービスを開始して以来、海外でそのまま利用できる3G携帯電話のラインアップを充実させてきました。現在、ボーダフォンの最新カタログ(2006年5月号)に掲載している国際ローミングサービスの対応機種数は11機種²です。

今後もさらに海外での利用地域拡充に取り組み、より豊かなグローバルコミュニケーションを実現してまいります。

<国際ローミング対応エリア(2006年5月25日現在)>

()内は前回の拡大からの増減数

提供サービス	国と地域	事業者数
通話	151 (7)	214 (11)
SMS(ショートメッセージサービス)	149 (7)	212 (11)
ボーダフォンライブ! (ウェブ、MMS マルチメディアメッセージングサービス)	60 (8) ³	89 (3)
モバイルデータ通信(パケット通信サービス)	60 (8) ³	90 (3)
TVコール(テレビ電話) ⁴	13 (-)	14 (-)

1 「Vodafone 802N」や「Vodafone 703N」など、国内専用機種があります。

2 ボーダフォン接続カード「VC701Si」を含みます。

3 Cingular(シンギュラー)が所有していた中南米エリアのネットワークの一部が Digicel(デジセル)に売却されたことにより、グレナダ、ケイマン諸島、セントビンセント・グレナディーン諸島、セントルシア、バルバドス、アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国およびバミューダ諸島において、「ボーダフォンライブ!」およびモバイルデータ通信の国際ローミングサービスを停止します。

4 TVコールが利用できるのは、イギリス、オランダ、スペイン、香港、カナリア諸島、シンガポール、ドイツ、韓国、台湾、スイス、イタリア、パチカン市国およびサンマリノの計13の国と地域です。

以上

- Vodafone、Vodafone live!、ボーダフォン接続カードおよびスピーチマークデバイスは、Vodafone Group Plcの登録商標または商標です。
- TVコールは、ボーダフォン株式会社の登録商標です。

<ボーダフォン 国際ローミング対応エリア数の推移>

		国と地域の数		
		音声	ボーダフォンライブ!	TVコール
2002年	12月20日	49		
	12月31日	49		
2003年	3月31日	61		
	6月30日	74		
	9月30日	81		
	12月31日	81	29	
2004年	3月31日	85	36	
	6月30日	96	41	
	9月30日	108	41	
	12月31日	113	41	
2005年	3月31日	117	51	
	6月30日	120	55	
	9月30日	123	55	
	12月31日	131	55	7
2006年	3月31日	143	67	13
	5月25日	151	60	13

